

佐々木一郎



2月 (油絵)

旧3回生(昭和八年卒業)。大正三年二月三日生れ。岩手師範学校専攻科卒業。昭和十三年から岩手県の公立小学校の教員になり、戦後三年、県立美術工芸学校助教授、二六年県立盛岡短期大学助教授、三七年岩手大学学芸学部助教授、四五年教授に就任、五四年定年退官、現在岩手大学名誉教授。「作家活動」一水会会員で、長年公立学校教員、岩大教授として学生の指導のかたわら、県立美術館建設運動にかかわり、会長を務めました。写実的画風で、八幡平等などの冬景色や盛岡市内の風景などを描いた作品があります。

昭和三八年一水会会員になり、四六年会員佳作受賞、四七年パリ、翌年南仏ヒアリッツで個展、五〇年日本画家(一〇〇人展(パリ))出品、サロン・ドートンヌ入選、平成五年同会員に推挙されました。

住所 盛岡市榊子田町二二八。

絵画



夕映えの海 (1966年)
アルベルトサロン(ベルギー)などの47サロンに入選

近藤一彦

石桜同窓会で美術の分野、絵画、彫刻、グラフィックデザイン、写真などで作品を創作発表している方々を紹介します。

長年パリに在住して創作活動をしている宇津宮功氏(絵画)、東京在住の佐藤祐司氏(彫刻)、重茂佳伸氏(絵画)、県内で活躍の佐々木一郎氏(絵画)、斎藤孝三氏(絵画)、近藤一彦氏(写真)、宇夫方康夫氏(デザイン)、村上誠氏(絵画)、藁谷収氏(彫刻)の九人です。

掲載は卒業年次順です。経歴などの内容は、各氏からの提出によります。

(N記)

写真

旧17回生。(昭和五年一月二十五日生まれ)昭和二四年岩手師範学校卒業。仁王小学校教諭になり厨川小学校を最後に昭和六一年退職。

「作家活動」国際サロンニストの写真家として活躍。昭和三五年全日本写真サロンに初入選。その後、子供たちや農村風景などを撮り続け、フランス、スペイン、ドイツなどの国際サロンで活躍。

海外各地の取材も多く、昭和四一年ヨーロッパ、五〇年東南アジア、香港、バンコク、五七年から五九年にかけて台湾。六〇年から六一年に中国、六二年ギリシャ、エジプト、平成元年パリ島、ボログドール、シンガポール、二年韓国、五年南仏、スペイン、ポルトガル、六年タヒチ、ニューカレドニアに出かけています。「農婦」「月下の馬耕」の作品はスペイン・ガラゴッサ美術館をはじめ、各国の美術館に永久保存されています。フランス国際写真協会、ベルリン写真協会などの名誉会員です。個展開催も多く、県内外で三〇回開催。

本年六月一日に亡くなりました。

住所 盛岡市上田二一九三

斎藤 孝三

絵画

プロフィール(1972年)
第24回三軌会展会員推挙作品



旧17回生(後期)。昭和二年三月卒業。昭和五年二月二八日生まれ。盛岡農林専門学校林科卒業。家業の山林経営、貸ビルなどの不動産業。県林業経営者協会理事。

「作家活動」

三軌会展員 エコール・ド・エヌ運営委員として活躍。作風は的確な描写力のある写実画で、裸婦など人物像の具象作家。

昭和三年、美術団体「エコール・ド・エヌ」結成に参加。四三年岩手芸術祭洋画部門奨励賞、四六年三軌会展奨励賞、準会員になり、四七年会員に推挙されました。日本美術家連盟会員。

住所 盛岡市愛宕町一〇一三七

佐藤 祐司

彫刻

新2回生。昭和六年六月一〇日生まれ。県立盛岡短期大学卒業。和光大学芸術学科講師を長年勤めています。

「作家活動」

新制作派協会彫刻部会員。人間を追求し、人間の根源をぎりぎりのところで造形化した「ベルソナ」シリーズを長年発表。ライフワークにしています。

昭和三年新制作派協会展初入選、三五年新作家賞、四五年に会員推挙され以後毎年出品。個展やグループ展は四七年銀座オカベギャラリー、五三年銀座モリスギャラリー、五七年六本木ストライプハウス美術館、玉川高島屋野外彫刻展、五八年銀座和光ギャラリー金屑作家展、青山412ギャラリーで開催。盛岡でもMORIOKA第一画廊、盛岡クリスタル画廊で数回個展をしています。モニユメント制作は、四八年茨城県真壁町倉記念碑、四九年岩手県田瀬ダム記念碑、盛岡志和眼科ビルの少女像があります。

住所 川崎市麻生区片平三十一〇一

ベルソナ(1995年)
第59回新制作展出品



宇夫方康夫

デザイナー

新6回生。昭和一〇年二月二日生まれ。岩手高校を卒業後、デザイナー佐々木幸三氏に師事、アドブレーション、オリンピック企画、イオ・クリエティブプログラムを経、現在UBUデザイン事務所を主宰。

「作家活動」二科会デザイン部門の会員、ポスターなど印刷物のグラフィックデザイナーとして中央で活躍後、地元に戻って現在は、岩手デザイナー協会会長として本県デザイン界の中心的存在です。

昭和三六年二科展デザイン部初入選、四六年会友、六三年に会員推挙されました。この間特選賞奨励賞、特別スポンサー賞、会友賞、平成四年には会員金賞を受賞。二科会デザイン部東北、北海道地区代表中央委員。

岩手広告美術展では、広告賞、優秀賞、盛岡芸術祭市長賞など多数の賞を受賞しています。日本グラフィックデザイナー協会会員（地区幹事）岩手広告協会会員。住所 盛岡市東松園三二二一五。

1992年第77回二科展
デザイン部会員金賞



手を結べ輸入で世界の国々と
第10回輸入拡大月間平成4年10月1日〜31日
企画・制作 日本貿易振興機構（JETRO）

重茂 佳伸

絵画

新10回生。昭和一四年一月二日生まれ。日本大学芸術学部美術学科卒業。東京都大田区立大森第七中学校の教諭になり、その後同区の羽田中学校、矢口中学校、工学院大学高校を経て、世田谷区立の船橋小学校、北沢小学校、砧小学校、現在祖師谷小学校の教諭を務めています。

「作家活動」高校時代から石塚新聞に似顔画を多く描き、描写力には定評がありました。独立美術協会の会友で、独立展を中心に作品発表しているほか、個展、グループ展に出品しています。最近では平成七年度草葉美術展、弦展（渋谷コーノギヤラリー）に発表。住所 川崎市麻生区片平四一八三五。

清水舞台（油彩）



宇津宮 功

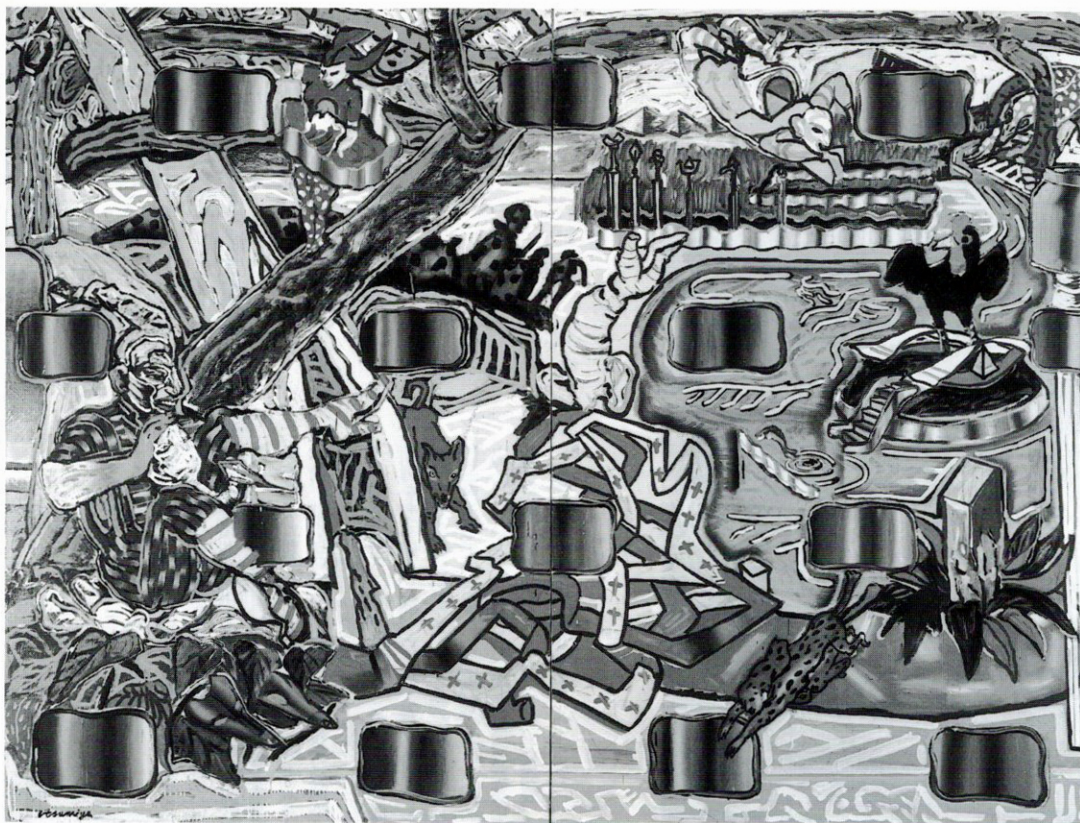
絵画

新15回生。昭和二〇年三月二十八日生まれ。昭和四二年武蔵野美術大学卒業と同時に渡仏。フランス在住。
「作家活動」 フランスを本拠地に創作活動として、ヨーロッパ各地、日本などで毎年のように個展を開催。作品発表を続けています。

作家としてのこれまでの活動歴、受賞歴

- 一九六八 グランプリ・ド・パーク受賞(ニース)
- 一九七二 グラフィカ画廊(東京、アトリエ画廊(オスタンド) 個展)
- 一九七二 ヨーロッパ日本人作家展・京都・東京両近代美術館
- 一九七三 オスタンド賞受賞(銀賞)(ベルギー)
- 一九七四 アルカンス画廊個展(ブリッセル)
- 一九七四 国際版画三人展(コペンハーゲン)
- 一九七五・七九 北上画廊(北上市)
- 一九七五 盛岡第一画廊個展 八一・八六・八九・九〇・九二・九四
- 一九七六・七九 クロード・ジョングン画廊 個展
- 一九七八 リブ・ゴオーシユ画廊個展(パリ)、クリスタル画廊個展(盛岡)
- 一九七八 現代美術展 ジャンピラーセンター(フランス)
- 一九七九 キューバ革命20周年記念展(パリ、ユネスコ)
- 一九七九 第11回国際絵画フェスティバル日本代表カーニユ・シユールメール
- 一九八〇 舞踏文化センター画廊個展(パリ)
- 一九八〇 第一回国際ポートレート・ピエナナレ(ユーゴスラビア)
- 一九八一 ビトリイ賞受賞(フランス)

- 一九八一 日本画廊個展 八六・八九・九二・九四・隆英堂画廊個展(愛知)
- 一九八二 ビトリイ市民ギャラリー個展
- 一九八三・八四・八五 国際絵画見本市(フランス) パレ(パリ)
- 一九八四・八九 ガイゲエー画廊個展(ドイツ)
- 一九八六 エクスプレション・リリック展・フローラ画廊(パリ)
- 一九八六・八九 なびす画廊個展
- 一九八七 从展 東京都美術館・コディファック画廊個展(ギルドオー)
- 一九八八 日本大使館情報文化センター(パリ) 個展
- 一九八八 ルアン現代美術センター個展(ルアン市)
- 一九八九 SOSアルメニア展(エスパース・ピエールカルダン)(パリ)
- 一九九〇 ビトリイ市展20周年記念展・プラクイマージュ展(アトラント・ティモチュエー画廊)
- 一九九〇 ゴッホのテオへの手紙展(タフネ号・フランス)
- 一九九二 ロオーユ・ド・ブック画廊個展(パリ)
- 一九九二・九五 アートデュシユ画廊個展(浜松)
- 一九九二 岩手現代美術シリーズ1 萬鉄五郎記念館(岩手県)
- 一九九五 絵画展 オブノ画廊(パリ)
- 一九九六 アート96(ストラスブルク)、オブノ画廊個展(パリ)
- その他 サロン・ド・メイ毎年招待出品
- 住所 10 RUE THIEERS 94335
- 0 VILLIERS-SUR-MARNE
- FRANCE



緑の朝No.161(油彩)

村上 誠

絵画

藁谷 収

彫刻

新17回生。昭和四〇年三月一日生まれ。店舗デザイン事務所を開設、代表。

「作家活動」グリーンを主体とした色彩の抽象画シリーズを一貫して追求、個展を中心に作品発表しています。

昭和四〇年全国学生油絵コンクール大賞、四四年花巻にて最初の個展、四五年から四八年まで自治会館で個展、四九年MORIOK

A第一画廊個展、五三年県民会館個展、五四年、五五年ギャラリー菜園子画廊個展、五六年には、小笠原哲二先生の遺作展開催に尽力、県民会館を会場に二八九点の作品を集めて展示。五七年、五八年ギャラリー菜園子で個展、六〇年県優秀美術選奨を受賞、平成六年MORIOKA第一画廊で個展。
住所 盛岡市下太田新堀端二一五。



作品(油彩・1994年)

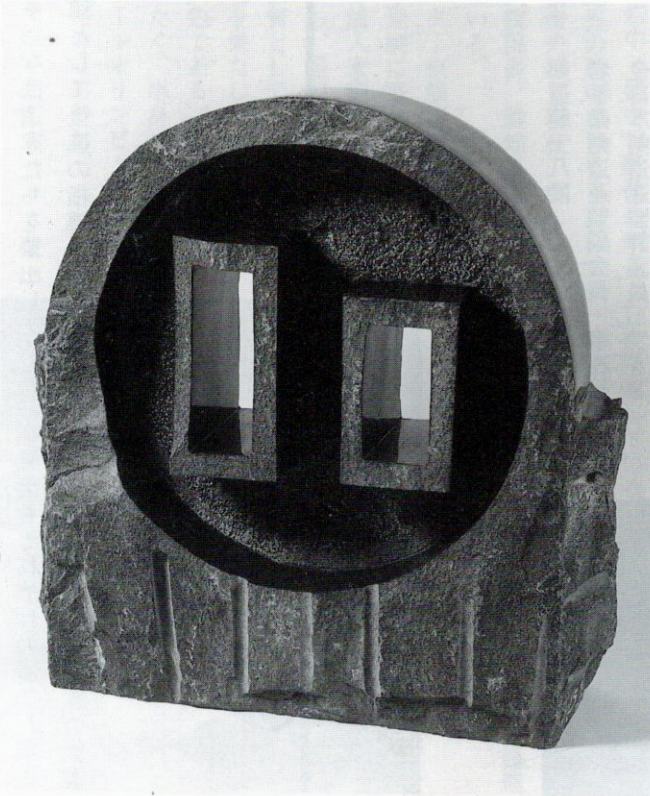
新24回生。昭和四七年三月生まれ。岩手大学教育学部特設美術科卒業。現在同大学特設美術科助教授。

「作家活動」国画会会員。岩手で学生の指導にあたりながら一貫して石彫作品に取り組んでいます。盛岡彫刻シンポジウム・アートディレクター。

昭和五〇年国画会展彫刻部出品。以後連続出品しています。五二年国画会展彫刻部新海賞受賞、盛岡彫刻シンポジウム企画、参加して現在も連続開催している。五四年ギャラリー彩園子で個展、五五年盛岡彫刻シンポジウム第一回企画展出品、五七年ギャラリー彩園子

で個展、六〇年県優秀美術選奨受賞、六一年彫刻86・9展(MORIOKA第一画廊)出品、イタリア・カララ国際シンポジウム参加、平成三年第八回八王子彫刻シンポジウム参加、四年いわて野外ギャラリー中央通り彫刻展企画、参加。東京ギャラリーせいほうの石空間展2に出品。五年相模湖野外美術彫刻展出品、六年盛岡彫刻シンポジウム20周年記念展企画出品、七年ギャラリーLavieで個展、八年第一回安比高原彫刻シンポジウム企画、参加。

住所 盛岡市山王町二一五〇。



構成された風景No.5 (黒御影石)